

HUMAN RIGHTS

すてきだよ わたしたちの町 -1000人に会おう

寝屋川市立明和小学校

寝屋川市立明和小学校では、「いろいろな人との出会いを大切に」と1999年から全校で人権総合学習を始めました。人権総合学習では、友達と協力しながら、考える力、課題を解決する力、コミュニケーション力を育てたいと思っています。そして、何より学習が楽しさや自信につながることを願い、各学年、様々なテーマで取り組んでいます。

自分の町を知り、好きになる

2年生では「すてきだよ わたしたちの町」といったテーマで自分の町を知り、自分の町を好きになり、さらに町の人たちに、明和小の子どもたちをもっと知ってもらいたいという願いで取り組みました。

まずは、おうちの人、近所の人、先生から、インタビューを始めました。「好きな食べ物は? どんな所へ行ってみたいですか?趣味は?特技は?」インタビューの練習にもなりました。いよいよ、町探検に!子どもたちがよく行くお菓子屋・スーパー・ファーストフードの店・100円ショップ。さらに、保育所・花屋・写真屋・ペットショップ・ケーキ屋・赤ちゃんのいる家など候補地ができました。

次に、インタビューの内容を考えます。「どのお菓子が一番売れていますか。何年、この仕事をしてますか。仕事をしていて楽しいことは?…」と。

おっと、行く前に「あいさつ、自分の名前、何をしに来たか」をはっきり言う練習です。付き添いとして保護者にも参加してもらい、安心して探検に行くことができました。

さあ、緊張と不安の中「めいわっ子たんけんたい」の出発です。しかし、みんなの足取りは軽く弾んでいます。帰ってきた時、どの子の顔にも「できた」という達成感と自信で喜びがあふれていました。「保育所の先生と会ったよ。ケーキの味見させてもらったよ。きれいな写真の撮り方おしえてもらったよ…」と。

出会いを紙芝居やクイズで

この楽しかった出会いを紙芝居やクイズにして発表もしました。うまく伝えられたかな。大きな声で言えたかな。友達の発表しっかり聞けたかな。この後も、「もっと出会いたい」と目標が一気に1000人になりました。そのため、また、「めいわっ子たんけんたい」



が動き出しました。「明和小のみんなに会おう!老人センターの人に会いに行こう!招待給食でおじいちゃん・おばあちゃんが来るよ!」。障害のある人にも出会いました。「しゃべりかたわかりにくいけど、一生懸命しゃべってはる。よく聞いてたらわかるで…」

最後に「こんなに大きくなったよ」の学習で自分との出会いをしました。自分自身も友達も大切に育てられてきたことがわかりました。2月末、1000人まであと3人…。

1年かけて、1000人の人たちからたくさんのぬくもりやさしさをいただきました。自分らしく表現すること、自信をもったこと、がんばることの素晴らしさ、そして、人と出会う楽しさ、友達の良さもこの学習で発見してくれたと思います。



おとしよりの交流

そうぞう

7

2003.3*No.4